

中期経営計画「Vista2027 Stage II」では「現有事業の利益拡大」を基本戦略の一つとして掲げました。顧客や市場を取り巻く環境の変化を見定めながら、現有事業の成長分野の強化および新製品の確かな育成を進めていきます。

化学品事業

当社の化学品事業は、肥料の基礎原料である硫酸・アンモニアからスタートしました。一般工業用だけでなく、電子材料用途の高純度薬品、大気汚染物質の除去剤である高品位尿素水、シアヌル酸誘導品の水質改善用途での活用など幅広い分野で使用される製品と技術をお客様に提供しています。

【2024年度経営成績】

基礎化学品では、高純度硫酸（半導体用洗浄剤）が増収となりました。ファインケミカルでは、環境化学品（プール・浄化槽用殺菌・消毒剤等）やファインオキソコール®（化粧品原料等）が増収となりました。この結果、当セグメントの売上高は378億35百万円（前年同期比22億72百万円増）、営業利益は1億79百万円（同1億31百万円増）と

なりました。業績予想比では、売上高は7億円の下ぶれ、営業利益は1億円の上ぶれとなりました。



※2022年4月に組織改定を実施。2019～2020年度は旧組織区分。2021年度以降は、組織区分変更後の数値

機能性材料事業

スマート社会の実現に向けて、半導体、センサー、ディスプレイの進化が求められています。機能性材料事業部は、3本柱であるディスプレイ、半導体、無機コロイドで現有製品の用途拡大や新製品開発を通じて、スマート社会の実現に貢献します。

【2024年度経営成績】

ディスプレイ材料ではサンエパー®（液晶配向材用ポリイミド）が増収となりました。半導体材料では、ARC®*1（半導体用反射防止コーティング材）およびOptiStack®*1（多層材料）が顧客の稼働回復を受けて大幅な増収となりました。無機コロイドでは、スノーテックス®（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）やオルガノシリカゾル・モノマーゾル（各種コート

剤、樹脂添加剤）が増収となりました。この結果、当セグメントの売上高は1,000億98百万円（前年同期比155億30百万円増）、営業利益は289億80百万円（同64億49百万円増）となりました。業績予想比では、売上高は27億円の上ぶれ、営業利益は7億円の上ぶれとなりました。

*1 ARC®、OptiStack®はBrewer Science, Inc.の登録商標です。



農業化学品事業

農業化学品事業部は「世界の人々に安定した食料供給を、地球環境にも優しい農業を」、という考えのもと、農業、緑地管理用薬剤、動物用医薬品をお客様に提供しています。食料の安定供給に貢献する製品を提供する企業として、社会課題解決に向けさまざまな取り組みを進めています。

【2024年度経営成績】

フルラナレル（動物用医薬品原薬）は増収となりました。国内向け農業は、2月より販売が開始されたベルダー®（水稲用除草剤）に加え、アルテア®（水稲用除草剤）やグレーシア®（殺虫剤）が堅調に推移しました。一方、ラウンドアップ®（非選択性茎葉処理除草剤）は減収となりました。海外向け農業は、タルガ®（除草剤）は減収となりましたが、ライメイ®（殺菌

剤）およびグレーシア®が伸びました。この結果、当セグメントの売上高は862億26百万円（前年同期比41億12百万円増）、営業利益は255億71百万円（同21億73百万円増）となりました。業績予想比では、売上高は1億円の下ぶれ、営業利益は1億円の下ぶれとなりました。



ヘルスケア事業

当社は1982年に医薬品事業へ進出し、さまざまな製品を開発・上市してきました。ヘルスケア事業部は、これまで培ってきた技術で、世界中のかけがえのない生命と笑顔のために、より優れた医薬品と医療材料を提供していきます。

【2024年度経営成績】

リバロ®*2（高コレステロール血症治療薬）原薬は国内、海外ともに減収となりました。ファインテック®（課題解決型受託事業および共同開発型事業）は増収となりました。この結果、当セグメントの売上高は59億93百万円（前年同期比3億6百万円減）、営業利益は18億93百万円（同9億21百万円減）となりました。業績予想比では、売上高は2億

円の下ぶれ、営業利益は4億円の下ぶれとなりました。

*2 リバロ®は、興和株式会社の登録商標です。



● 2024年度セグメント別業績と地域別売上高

*3 その他：卸売・その他・調整 *4 単位未満で四捨五入しているため、合計と内訳の計は一致しない

